



な が れ



よく^{まな}学び、よく^{あそ}遊べ ～できるようになったことはありますか？～

校長 服部 みどり

「黄金律」という言葉を、御存知でしょうか。英語では「ゴールデンルール」と言います。「人にしてもらいたいと思うことをしなさい」という教え、規律やルールのことです。人間の生活にとって大切なこと、これを守り実行すれば毎日があまくいくという^{かんが}えにも通じるのではないのでしょうか。私は、「小学生の黄金律」の基本は「よく^{まな}学び、よく^{あそ}遊べ」だと考えます。保育園や子ども園の園児は、遊びの中から^{まな}びます。「遊び」と「学び」が明確に分かれていません。小学校にはカリキュラム(時間割)があるので、授業と休み時間に象^{まな}徴されるように「^{あそ}遊び」と「^{まな}び」の棲み分けがされています。とても大切な2つです。

私は子供の頃、この言葉を家でも学校でもことあるごとに言われた覚えがあります。「休み時間は外に出てたくさん遊びましょう。気分転換にもなります。」「体が丈夫だといざという時に力を出すことができるから、勉強が終わったらたくさん遊びなさい。」「勉強はしなくてはいけないけれど、原っぱや空き地で思い切り遊ぶことはもっと好き!」という私には、「よく^{まな}学び、よく^{あそ}遊べ」という言葉は、とてもすんなりと入ってくる言葉でした。休み時間は、今の子供たちと同じ「鬼ごっこ」と「ドッジボール」、家に帰ってからは、友達と毎日のように「ゴムだん」をしていましたが、勉強も「やれと言われたからやる。」というのではなく、当然やるものと考えていました。特に好きだったのは読書でした。本の続きが読みたくて宿題を早く終わらせ、わくわくしながら本を開き、開いた途端にお話の世界に浸っていました。「若草物語」も「十五少年漂流記」も「赤毛のアン」も「名探偵カッレくん」も、何度も繰り返し読みました。本を読むことで、言葉の使い方や難しい漢字の読み方を覚え、それを作文やスピーチで使ってみたいと思いました。初めて知ったことがあるとうれしくて、できるようになったこともうれしくて、先生や家族にほめられたこともうれしかったのですが、決してほめられてばかりだったのではありません。洋服にかき裂きをつくったり泥だらけにしたりして帰っては怒られ、転んでひざ小僧に擦り傷をつくって保健室に行けば「またなの?」と呆れられ、分からなかった問題の答えをずっと考え続け大事な話を聞き逃すなど、失敗も怪我もたくさんありました。でも、毎日が楽しくて、たいへんで、スリリングでエキサイティングで・・・今考えると、一生懸命に勉強したり遊んだりできた子供時代は、本当に幸せだったのだと思います。

戸塚第三小学校では、今年、「頭・心・体」のどれをも大切にしよう、バランスよく育てよう、と考えて教育活動を進めてきました。得意な分野と苦手な分野、好きな教科と嫌いな教科は、きっと誰にでもあると思います。好きなものももっと好きになり、苦手なものも少し好きになってくれるといいと考えて、授業を工夫したり初めてのことに^あい出会う機会をつくったりあきらめずに挑^あ戦する姿勢を賞^あ賛したりしてきました。子供たちの笑顔と生き生きとした表情、子供たちからのやさしい言葉が、平成28年度の成果だと考えます。地域の皆様、保護者の皆様、1年間ありがとうございました。

支度

なんの においでしょう これは
これは 春のにおい
真新しい 着地のにおい
真新しい 革のにおい
新しいものの 新しいにおい
においの中に
希望も
夢も
幸福も
うっとりとうかんでくるようです
ごったがえす いいきれのさなかで
だけどちょっぴり 気がかりです
心の支度は どうでしょう
もうできましたか



(黒田 三郎)